

## 【只見町】

2019年度 ユネスコエコパーク関連事業

### 只見町の古民家実態調査を実施！

2019（令和元）年9月26日、梁取区、長浜区、黒谷区において「古民家実態調査」が行われました。この調査は、只見町に曲がり屋に代表される古民家があり、それらは地域の代表的な景観を形成するとともに住民の伝統的な生活文化を知る上での重要な文化財である一方で、近年の生活様式の変化や老朽化に伴う古民家の解体が進んでいることを鑑み、古民家の保全策を検討のための基礎資料を得ることを目的に実施されています。実施主体は只見町で、信州大学教育学部の井田秀行准教授に委託して調査が行われ、2015（平成28年）度からの継続調査となります。

今回の調査では、信州大学教育学部の学生らが事前に只見町の自然や伝統的生活、歴史について、ただみ・ブナと川のミュージアムの見学、ブナセンター職員による講座、さらには集落周辺の森林植生の観察を通して学んだ上で、各古民家に訪れ、所有者の方から古民家が建てられた年代や建材の種類、古民家を中心とした昔の生活などについてヒアリングを行いました。所有者の方々には親切丁寧に調査に協力いただき、順調に調査を進めることができました。さらには、調査を行った学生らにとっては、かつての只見地域の住民と自然環境との関係を学ぶ貴重な経験となったようです。ヒアリング調査のほかにも、古民家の実測調査および建材の樹種調査についても実施しています。調査の成果については、今後、報告する機会を設ける予定です。



古民家調査の様子



調査を行った信州大学教育学部の学生さんら

【担当】 只見町役場地域創生課ユネスコエコパーク推進係

TEL 0241-82-5220